

学生が制作した子ども向け展示解説シートを高松市讃岐国分寺跡資料館へ贈呈

特別史跡「讃岐国分寺跡」の理解が子どもたちにも深まることに寄与するため、文学部の学生10名が企画・制作した展示解説シート(10種類)の贈呈式が、4月8日(土)高松市讃岐国分寺跡資料館において行われました。

この取り組みをとおり、学芸員資格取得をめざす学生にとっては、誇るべき地域の歴史と文化を後世に伝えていくために文化財愛護思想を啓蒙することの大切さと、そのことを将来を担う子どもたちに分かりやすく示すことの難しさを実践するこの上ない場となりました。



前左から、伊藤華さん・川崎春香さん・横井真子さん・山本陽南さん、後左3番目から、村瀬龍宇一さん・東田光貴さん・吉岡武悟さん・形山優介さん(以上4年生)



あなたも地球も得する『消費ハンドブック』を作成



2022年度に開催された「消費者教育等に係る県内大学と海外大学とのオンライン交流事業」(主催:徳島県)に、人間生活学科から6名、総合政策学科から4名、短期大学部食物専攻から1名の学生が参加し、「持続可能な生活に向け私たちにできること」をテーマとした『消費ハンドブック』を作成しました。

ハンドブックのコンセプトを、①ゼロ・ウェイストな暮らしを推進する、②大学の授業や研究で取り組んでいる内容を普通の生活に取り入れるの2つに決め、試行錯誤してできあがりました。地域連携センターHP、徳島県HPなどに掲載されていますので、ぜひ皆さんご活用ください。

新入生セミナーを実施

昨年より再開、学科によっては3年ぶりに新入生セミナーを4月に各学科にて実施しました。「新入生セミナー」は新入生同士および先輩や教員との親睦を深め、大学生活をスムーズにスタートさせることを目的としています。

今年度は香川県の中野うどん学校でのうどん作り体験、あすたむらんど徳島の見学や四国八十八カ所の遍路ウォークといった学外での研修を行った学科も多く、学内での研修ではレクリエーションを楽しみました。県外からの新入生にとっては、徳島や香川を知る良い機会にもなりました。



日々練習中!

クラブ・サークル活動



数年間、思うように活動できなかったクラブ・サークルも多かったようですが、コロナ禍も明けつつある今、活発に練習が行われています。中にはアウトドアサークルや将棋同好会などコロナ禍の生活をとおり新たに生まれたものもあります。その一方、部員募集からリスタートするところもあるようです。

新入生の中には高校生の間、クラブ活動はおろか学校行事も思うようにできていない方も多くいます。大学でのクラブ・サークル活動を通して、学科・学年を超えた交流や対面での人との交流・団体活動を行い、本学でのキャンパスライフを充実させてほしいと思います。